

稲グリ新聞

発行
早大グリーンクラブ
OB会
編集
田中弘文
原信二郎
(毎月1回発行)

20th
稲グリ
記念定演

歌おう、本気で
あとう月
本番まで

いよいよ二〇回記念定演が満を持してまいります。勿論、桜近づき、練習スケジュールも楓、桜友の諸メンバーは整々左表の通り決定。岡村さんもと暗譜をこなしてまいります。ボニージャックスの皆さんも一段と熱を入れて練習してまいります。それにスベシマルゲストの野坂昭如さんも前回出演時よりもたくさん歌いたたいと生活改善の時局です。そこで稲グリ出演メンバー、活動がざること山の如し、生活改善し、「トステイ」五曲、

定演までのスケジュール

月	日	曜	練習場	時間	内容
5	12	土	大橋	13:30~16:30	筑後川(合同)
	16	水	"	18:30~	世界
	19	土	合宿 河口湖・おおぼ	15:00 現地集合	16:00~17:30 世界 19:00~21:00 岡村
	20	日		15:00 現地解散	9:00~11:00 筑後川 11:00~12:00 世界 13:00~15:00 トステイ
	23	水	大橋	18:30~	トステイ
	30	"	大橋	"	世界
6	2	土	"	13:30~16:30	筑後川(合同)
	3	日	"	13:00~17:00	トステイ・岡村
	5	火	(未定)	18:30~	"
	6	水	大橋	"	筑後川(合同)
	7	木	勤労福祉会館	"	トステイ・岡村
	8	金	目黒公会堂	"	野坂・岡村
	9	土	厚生年金会館	12:00~20:50	リハーサル・本番

(注)

- 回 6月5日(火)の練習場が未定です。追ってご連絡しますのでご注意下さい。
- 回 東京都勤労福祉会館(6/7) TEL(552)9131
地下鉄日比谷線八丁堀下車3分(有楽町寄り)
(都営1号線宝町、銀座線京橋も可
昭和通りよりもう一本南)
- 回 目黒区公会堂(6/8 ゲネプロ) TEL(712)2932
東急東横線 祐天寺下車7分
(改札口で駅員に聞くこと)

諸君！仕上げた

河口湖合宿(6/9)20(日)

〈稲グリ合宿村役人〉
村長 見玉 康夫(38)
助役 佐藤 公俊(48)
収入役 遠藤 守正(37)
(詳細は案内書参照)

「筑後川」五曲、「世界歌の旅」七曲プラスα(野坂氏バック等)の二〇曲近い曲をマスターするといふ日常生活になります。これは相当な仕事で、本番一週間前にその気になつてもとつても間に合いません。休

日は勿論、常に祭譜を手ばなさず、仕事の合間、通勤電車の中で臆面もなく広げてみるという時局なのです。一丁本気になつてやろうではありませんか。(編集局)

季節は良し、「河口湖」の空気が緑色だ(去年の合宿の夜の酔っ払いの言)といわれる板群の環境に加えて、合唱の家のおおぼは掛け値なし、最高の合宿所。今回はスケジュール表の時間割りどバッチリ仕上げを目指す。是非全員参加も、岡村さんは山中湖に新築した別荘に鍵をかけて参加。また、桜楓・桜友の諸嬢も「なんか面白いことないかし」と押しかけ参加する模様。村長から一言、夜の懇親会用のアルコール類を募集します。とつておきもの歓迎。なお、飲みすぎて六大学の校歌を放歌高吟したり、現役時代と錯覚して「脱がせうこ」などして新聞が本になうないようにすること。以上

定演プログラム 広告募集

お申込み締切り=5月15日

20回記念 稲グリ定演プログラムに広告を募集しています。定評ある稲グリ定演ですから注目度は請けあい、効果的です。2,500部 無料配布、お申込みは **完全版下** で。

エバラ
(担当 原信二郎(42) (自)03(398)6817
(野)03(291)1561)

	天地	左右	料金
全ページ	28 (cm)	19 (cm)	100,000 (円)
1/2 "	13	19	50,000
1/4 "	6.5	19	30,000

「ハミング情報」合唱の家「おおぼ」山梨県都留郡河口湖町河口二八四五 電話〇五五七六一六六〇〇

野坂氏 歌手復活宣言

定演スペースナルゲストの野坂昭如氏が第四ステージで歌う曲の打合せも少々アワテ気味。会が四月十七日、渋谷のレス

トランを同氏のマネージャー・浜垣洋二氏と指揮の岩本氏(39)との間を持たれた。(浜垣氏は早大三十年卒で現役時代はフリーにも所属していたこともある由)

浜垣氏によれば、野坂氏も「このところの気づかれを吹っ飛ばしたくウズウズしている」ので、「健康のため思いっきり歌いたいし、何よりも「歌手野坂昭如の盛大にして華麗な復活の日」にしたい。そして、前回は三曲だけだったけど、今度は「五曲以上歌いたい」意向とのこと



挿画 境田昭造

〔ハミダシ情報〕定演チラシの下の広告の地図を、定演場所と思ひ込めお客さんあり。これは打上げ二次会の場所であると一言注意を。

- ・打合せの結果、候補曲は、
- ・ツンドラ 悲歌(コーラス付)
- ・バージン・ブルース(ハッ)
- ・野坂唄え新古今集より
- ・「夏」「冬」
- ・終末のタンゴ

四月の練習

久々組、T1加藤(38)、村上(44)、T2服部(43)、B1秋葉(30)、B2岩淵(58)の各氏を迎える。奈良原氏(30)はじめ各パートの動員役の活躍で間もなく常時四十人台へ突入の見込みだが相変わらずトップが弱体。お助けマン来た水!

二十五日(水)は、これまで「トステイル」の練習伴奏を勤めていた益田久史子さんの最後の練習日となった。(いろいろ有難うございました。今後とも指揮の川元氏(56)をよろしく)

・Night & Snow
・黒の舟唄
が挙げられ、この中から一応五曲をとった。
「歌手野坂昭如し不死鳥の如くよみがえるか。久々の東

小冊子 ¥2500
販売要領
担当マネ 清水(40)

「音楽の友」五月号は必備品です。
まず何気なく「音楽の友」を開いて稲クリの存在を示す。

く。ン??
代わって五月二日(水)からはあの「岬の墓」の名伴奏者、池谷玲子さんが登場。いくらかふっくうと丸みを帯びて、女っぽくなったレヒグリー雀が騒いだりしている。

出席状況

	24	11	14(会)	18	25	5/2
T1	5	5	4	10	6	7
T2	7	8	5	7	10	6
B1	7	8	9	9	11	8
B2	7	9	10	13	12	6
	26	30	28	39	39	27

京での大ステージにける氏の熱気にマジタジとなる。氏のお目見えは本番前日のゲネフロ(目黒公会堂)から。ステマネ 土屋信吾(40)記

次におもむろに定演チラシを見せ興味を示すようなら、すかさず「一割引きにするか」グネツ、ネツとチケットを押しつけ「お金はあと、あと」と敵がボー然としていさううに速かにその場を離れる。その後には決してその話題にはふれない。

以上「断じて行えば鬼神もこれを避く」の精神で完売をお祝いします。
会計だより 遠藤(31)

新規登録会員

- 31秋葉 黎 A
- 多賀清雄 B
- 41平松 紘一 B
- 42和田 清 B
- 43村上 征雄 B

(計314)
A = 115
B = 166
阪 = 30
限B = 3

三十一卒の多賀清雄さんは卒業以来行方不明でしたが、昨年暮れ、勤め先の信濃毎日

新聞社の企画で岡村喬生さんを招いた際稲クリのことに知り早速連絡あったもの。六月九日の定演では同期の山本さん徳田さん秋葉さんらと感激の対面Fするこ

とに「なつています」。
■昨年度、現金で年会費(A11二〇〇円、B1三〇〇円)をお支払いの会員諸兄、本年度分の会費納入方お頼いします。なるべく銀行自動引落とし登録にしてください。ば事務上助かります。よろしくお頼いします。

千鳥ヶ淵の花見の宴のこと
四月十四日(日)筑後川(合同練習後のまだまだ寒い春の宵のこと。桜楓高伸さん(甲心)とする通称246グループの呼びかけで、皇居を臨む千鳥ヶ淵公園の桜の下、車屋になつてそれはそれはにぎやかで狂おしい花見の宴がありました。今号で詳しくその実態を記すつもりでしたが、残念ながら紙面が尽きました。高伸さんごめんなさい。来年も是非やりましょう。

参加者(総一三名)見谷、里見中川、中村、中島、高伸(迷子川石川)(以上桜楓) 萩本、奈良原、辻田、清水、石坂、佐藤(40)、類原(以上稲クリ)(編集子)